議案甲第５８号

第７次伊万里市総合計画

【　基 本 計 画　】

【　目　次　】

Ⅲ．前期基本計画

１．施策体系 …… 2

２．重点施策 …… 3

３．分野別施策

ともに支え育むまちづくり

01　子育て …… 5
02　教育・生涯学習 …… 6
03　健康・福祉 …… 7
04　人権・共生・協働 …… 9

活力あふれるまちづくり

05　農林水産 …… 10
06　商工 …… 11
07　観光 …… 12
08　スポーツ・文化 …… 13
09　シティセールス …… 14

安心して定住できるまちづくり

10　都市・住宅 …… 15
11　防災・安心 …… 17
12　環境 …… 18
13　行政経営 …… 19

1． 施策体系

まちづくりの目標	政策分野	施策の方向性		
①ともに支え育むまちづくり	1.子育て	• 子育てと仕事の両立のための環境整備 • 経済的支援の充実	• 支援と相談体制の充実 • 不安や悩みを抱える子どもの居場所づくり	
	2.教育・生涯学習	• 教育環境の充実 • 学校教育の推進	• 生涯学習の推進 • 青少年健全育成の推進	• 市民図書館の充実と多様な学びの推進
	3.健康・福祉	• 福祉サービスの向上 • 地域包括ケア・ヘルスケアの充実	• 高齢者がいきいきと元気に暮らす地域づくり • 障がい者が暮らしやすい環境づくり	• 健康づくりの推進 • 医療環境の充実
	4.人権・共生・協働	• 人権教育と啓発の推進 • 男女協働参画の推進	• 多文化共生の推進 • 市民協働の推進	
②活力あふれるまちづくり	5.農林水産	• 担い手の育成と農業経営の効率化 • 伊万里ブランドの維持向上	• 森林の適切な経営管理 • 漁業経営の安定	• 農業施設・基盤の整備
	6.商工	• 中小企業の振興 • 中心市街地の活性化	• 企業誘致の推進 • 就労支援の充実	• 港湾の利活用
	7.観光	• 観光資源の開発・活用	• 観光客受入体制の整備	• 観光情報発信の強化
	8.スポーツ・文化	• スポーツ活動の促進 • 文化財の保存・活用推進	• 交流拠点の整備 • 文化活動拠点の整備	
	9.シティセールス	• 移住・定住の促進 • 婚活支援の推進	• 認知度拡大と郷土愛の醸成 • 市政に関する情報発信の強化	
③安心して定住できるまちづくり	10.都市・住宅	• 道路の維持・整備 • 公共交通機関の維持向上	• 上下水道・工業用水道の維持・整備 • 都市空間の再整備	• 公園の適正管理 • 住宅施策の推進
	11.防災・安心	• 防災体制の充実 • 消防体制の充実	• 交通安全・防犯対策の推進 • 消費生活相談の充実	
	12.環境	• ごみの減量化と適正な処理	• 生活環境の保全	• ゼロカーボンシティの実現
	13.行政経営	• デジタル技術とデータ活用による行政経営の推進	• 効果的な財政運営と資産のマネジメントの推進	• 組織力の強化と人材育成の充実

２．重点施策

本市を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており、少子高齢化や人口減少を前提としたまちづくりが求められています。

IMARI（伊万里）はMIRAI（未来）を拓くまちでなければなりません。

将来都市像「つながりが MIRAI を拓き にぎわいとぬくもりが息づくまち IMARI」の実現に向け、伊万里の未来を拓く、ともに支え育む「つながり」、地域に活力を生み出す「にぎわい」、そして命と暮らしを守る「安心」の３つの視点を軸として、誰もが住み続けたいと実感できるまちづくりを力強く推進します。

社会情勢の変化に対応しながら、本市の強みを最大限にいかし、未来への新たな挑戦と暮らしの安心確保をスピード感をもって進めていくため、特に力を入れて取り組む以下の「４つの重点施策」を設定しました。

これらの4つの重点施策について戦略的な取組を展開し、誰もがこのまちで暮らす喜びを感じられる伊万里の未来を切り拓いていきます。

重点施策①

住み続けたいをカタチにする３つの拠点整備

〇健康と安心を支える「アクティブ拠点」としての国見台公園の整備

新体育館の建設や地形をいかした遊び場の整備を通じ、にぎわいと安らぎが共存する、本市にとっての力強いシンボルとします

〇世代を超えて集う「コミュニティ拠点」としての市民会館跡地の複合施設の整備

子ども・子育て世代を中心に、高齢者までの多世代が日常的に交流できる場を整え、まちなかにおける新たな人の流れとにぎわいを生み出します

〇海をいかす「レジャー拠点」としての伊万里湾周辺の海に親しむ公園の整備

伊万里ファミリーパーク、県所有のイマリンビーチ、福田マリーナの一体的な利活用により、市外からも人を惹きつける質の高い体験と憩いの空間づくりを推進します

2．重点施策

重点施策②

ともに支え育む「つながり」の拡充

〇子育て世代の負担軽減
〇豊かな地域コミュニティの創生
〇市民の健康づくりと福祉支援体制の強化
〇市民図書館の充実 など

主な取組

- 学校給食費の無償化
- 全ての保育料無償化
- 高校生年代までの医療費無償化
- 学校体育館の空調設備の整備
- 学力向上に向けたICT活用推進
- 高校応援団と連携した市内高校生の学び・活動のサポート
- 老人クラブへの支援拡充
- 看護学校への支援拡充
- 地域における買い物支援、病院等への移動支援
- 図書館のカーボンニュートラル拠点化の推進

重点施策③

地域活力あふれる「にぎわい」の創出

〇「稼げる」農畜産業のバックアップ
〇企業誘致と成長産業支援による雇用機会の確保
〇まちなかのにぎわい創出
〇伊万里港の利活用促進 など

主な取組

- 新規就農者への実地研修・初期投資等の伴走支援
- 伊万里牛や梨などのブランド産地の強化と生産基盤への重点投資
- 女性・若者が働きやすい多様な企業の誘致
- 国の戦略分野（造船・半導体関連産業など）に対応した産業振興の推進
- 伊万里駅周辺活性化プロジェクトの推進
- 市内観光地の周遊促進による大きな人の流れの創出
- 官民連携による、浦ノ崎廃棄物処理用地の産業用地化に向けた取組の強化
- 大学生等との協働による関係人口の創出と地域活性化
- スポーツ団体・文化団体活動への支援拡充

重点施策④

命と暮らしを守る「安心」の構築

〇道路整備の促進と安全対策
〇公共交通の利便性向上
〇地域防災力の向上、防災体制の充実
〇廃棄物最終処分場問題の解決 など

主な取組

- 西九州自動車道・セラミックロードの市民等と一体となった早期整備の促進
- 通学路・生活道路の計画的な補修や安全対策の実施
- 地域の実情に応じた、コミュニティバス路線等の拡充や最適化
- 地域を支えるバス・タクシー運転手確保に向けた事業者支援
- 消防団の活動環境の改善と資機材・設備の充実
- 通学路や公共施設等への防犯カメラの設置による防犯対策の強化
- 太陽光発電や蓄電池等の設置促進に向けた支援の拡充
- 時間や場所を選ばない、非来庁型行政サービスの拡充
- 自助・共助・公助の有機的連携による地域防災力の向上
- 廃棄物最終処分場に関する市民の不安・疑問の解消

- 地域コミュニティ：地域住民が生活し相互の交流が行われている地域社会で、行政区や町(地区)のこと
- ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。コンピュータやネットワークに関連する情報通信技術などの総称
- 高校応援団：高校生が地域を知り愛着を持ってもらうことを目的とした、地域全体で連携して高校生を育み支援する団体
- カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収・除去量を差し引きして、全体として実質ゼロにすること。日本では2050年実現を目標としている

01　子育て

市民とともに目指す姿

子育てに係る経済的負担の軽減や計画的な保育環境の整備、子どもの居場所づくり等により、市民が子育てと仕事を両立でき、良好な成育環境のもとで、すべての子どもが自分らしく幸せに成長できるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 少子化により市内全体の児童数が減少している中、保育園の運営が厳しくなってきており、保育園では希望の園に入ることができない状況もある。また、児童クラブでは待機児童が発生している。	● 持続可能な保育の提供のために、保育士や児童クラブ支援員の安定的な確保・育成と、適正な施設の運営が必要である。
● 保育料の見直しや子どもの医療費助成、給食費の補助などにより、子育てに関する経済的支援が拡充してきている。	● 物価上昇等によって子育てのコストが増加しており、さらなる支援が必要である。
● 産後ケア事業の利用が伸び悩んでおり、支援が必要な産婦に十分に届いていない。子育て中の家庭が抱える悩みや不安、ストレスが多様化している。	● 産後ケア事業の利用促進を図る必要がある。すべての子育て世代が気軽に相談できる場所を整備する必要がある。
● 不登校やヤングケアラーとなる子どもが近年増加している。	● 子どもの居場所となる施設の充実が必要である。

- 成育環境：子どもが心身ともに健やかに成長・発達するための家庭、学校、地域、医療、福祉などを含む総合的な環境
- 支援員（児童クラブ支援員）：平成27年度（2015年度）より新しく創設された放課後児童クラブに従事する職員のこと
- 待機児童：認可保育所へ入所申請をしたものの入所できない児童のこと

施策の方向性

子育てと仕事の両立のための環境整備

目指す姿　子育てと仕事の両立ができ、すべての子どもが良好な成育環境で成長できている。

主な取組方針
- ・保育士や児童クラブ支援員の確保・育成を図る。
- ・空き教室や近隣の民間施設の活用、民間事業者との連携により、児童クラブの受入環境を拡充する。
- ・保育所等の施設の整備を促進し、効率的な運営体制を整える。

経済的支援の充実

目指す姿　子どもがいるすべての家庭の経済的負担が軽減されている。

主な取組方針
- ・子どもの医療費助成等の経済的支援を継続する。

支援と相談体制の充実

目指す姿　ライフステージに応じた切れ目ない支援体制が整い、妊娠・出産・子育ての不安が軽減され、誰もが安心して子育てができている。

主な取組方針
- ・産後ケア事業の周知を図るとともに、利用しやすい体制を整備する。
- ・支援を必要とする家庭が気軽に相談できる環境の充実を図る。
- ・子育て支援センターの事業内容と体制の充実を図る。

不安や悩みを抱える子どもの居場所づくり

目指す姿　家や学校以外にも不登校などの子どもの居場所があり、子どもが心身共に健やかに育っている。

主な取組方針
- ・子どもの居場所となる施設の支援の充実を図る。
- ・子どもが地域の大人とふれあう機会を創出する。
- ・貧困状態にある子どもやヤングケアラーへの支援の充実を図る。

関連する個別計画

- 伊万里市子ども・子育て支援事業計画
- 伊万里市公立保育園等施設整備基本計画

- 子育て支援センター：楽しく子育てができるように、保護者と子どもが集い、交流し、リフレッシュするための各種支援・サービスを行う施設のこと
- 産後ケア事業：出産後の母子に対し、母親の心身のケアや育児支援を行う事業。宿泊型、通所型、訪問型などがある
- ヤングケアラー：家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者

02　教育・生涯学習

市民とともに目指す姿

子どもから大人まで、すべての市民が安心して快適に学べる環境や、夢や希望をもって心身ともに健やかに成長できる環境を整備し、身に付けた知識や能力をいかして、生きがいを感じながら学び続けられるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 学校施設の老朽化が進んでいる。	● 施設の長寿命化を図るため、財源確保や財政負担の平準化が必要である。
● 少子化により学校規模が縮小し、学びの機会確保が難しくなっている。	● 学力の向上や学校と地域の連携強化に取り組む必要がある。
● 生涯学習に関する講座等の参加者が高齢化、固定化している。	● 生涯学習を支える担い手を確保し、幅広い年代の参加を促す必要がある。
● SNSなどインターネットの有害情報や犯罪による青少年の被害が深刻化している。	● 青少年への各種啓発と居場所づくり、体験活動の充実に取り組む必要がある。
● 市民図書館では貸出点数の低迷や来館者・支援員の高齢化・固定化が進んでいる。	● 図書館支援団体の意見を反映しながら市民との協働を深める必要がある。

- SNS：Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。インターネット上で、利用者同士が情報を発信・共有し、交流することができるサービスのこと
- 教育DX：デジタル技術を活用して、学習、授業、校務、教育サービスのあり方を変革する取組。GIGAスクール構想などが含まれる
- 就学発達支援：就学前後の子どもの発達状況に応じて行う相談、療育、学習支援、就学相談などの支援

施策の方向性

教育環境の充実

目指す姿　子どもたちが安全・安心、快適な学校環境で学ぶことができている。

主な取組方針
- 学校施設や設備を計画的に更新・整備する。
- 教育DXによる教育の質の向上と教職員の負担軽減に取り組む。
- 幼・保・小の連携を強化し、スムーズな就学発達支援につなげる。

学校教育の推進

目指す姿　子どもたちが、確かな学力を身に付け、ふるさと伊万里を愛し、将来の夢や希望を語ることができている。

主な取組方針
- 学力向上対策と教職員の実践的指導力の向上に取り組む。
- 地域資源の学習、地域・企業との交流などを通じて郷土愛や自己有用感を高める。
- いじめや不登校などの問題に対する指導体制の充実を図る。
- 学習への困難を示す児童生徒への特別支援の充実を図る。
- アレルギー対応を含めた安全な学校給食の提供を行う。
- 安全教育の推進と通学路の安全確保を図る。

生涯学習の推進

目指す姿　子どもから高齢者までの誰もが、いつでも自由に学ぶことができ、生きがいを感じることができている。

主な取組方針
- 生涯学習講座の充実と適切な情報発信を行う。
- 生涯学習を支える担い手の掘り起こしに取り組む。
- 学校、企業、地域が一体となった市内高校の魅力向上と人材育成を図る。

青少年健全育成の推進

目指す姿　地域ぐるみの見守りや支援体制の充実などにより、青少年が健全に育っている。

主な取組方針
- 青少年向けの相談体制を整備するとともに、各種啓発や巡回パトロールを実施する。
- 地域での居場所づくりや自然体験活動の充実に取り組む。
- 各種団体や企業、PTAと連携し、地域一体で支援強化を図る。

市民図書館の充実と多様な学びの推進

目指す姿　市民図書館が拠点となり、読書活動や市民協働が充実している。

主な取組方針
- 誰もが利用しやすい図書館サービスの充実を図る。
- 読書活動の充実を図る。
- 市民の主体的な活動や交流の場としての市民図書館の機能を高める。

関連する個別計画

- 伊万里市公共建築物個別施設計画
- 伊万里市教育大綱
- 伊万里市子ども・若者計画
- 伊万里市の教育
- 伊万里市子どもの読書活動推進計画

03　健康・福祉

市民とともに目指す姿

市民一人ひとりの健康づくりと地域の支援体制を強化することで、市民が必要な支援や医療を受けながらお互いに支え合い、安心していきいきと暮らしている、健やかでぬくもりのあるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 地域福祉活動の担い手の高齢化が進み、地域との関わりを望まない家庭が増加し、地域の福祉サービス利用が進みにくい。	● 支援人材の確保と相談体制の周知を図り、多様なニーズに対応できる支援体制を整える必要がある。
● 高齢者のみの世帯や認知症の高齢者が増加し、生活支援の必要性が高まっている。	● 高齢者などへの見守り体制の整備や気軽に参加できる通いの場の創出支援や介護予防・健康づくりを推進する必要がある。
● 高齢化が進む一方、老人クラブやシルバー人材センターの会員減少が続いている。	● 高齢者が生きがいを持ち、社会参加を促進する取組を実施する必要がある。
● 障がい者への理解・支援が進んでいない現状がある。	● 障がいや障がいのある人を理解し、支援を受けやすい環境をつくる必要がある。
● 特定健診受診率が県内で低い水準となっている。	● 特定健診やがん検診の受診促進と、その後の健康管理につなげることが必要である。
● 休日・夜間に受診できる小児科がない。	● 日曜日や祝日、夜間の医療体制を重点的に支援する必要がある。

施策の方向性

福祉サービスの向上

目指す姿　市民が必要な時に声を上げ、地域がその声を適切に受け止めている。

主な取組方針
・地域福祉活動の担い手の負担軽減と人材確保に取り組み、連携を強化する。
・各種支援センターの体制充実に取り組む。　・生活保護制度の適正な運用を図る。
・災害時の配慮が必要な人への避難支援体制を強化する。
・出張相談や隣近所の見守りなど身近で相談しやすい体制を整備する。
・福祉ニーズを正確に把握し、適切な情報発信を図る。

地域包括ケア・ヘルスケアの充実

目指す姿　地域一体で、高齢者が自分らしく暮らし続けるための支援体制を整えている。

主な取組方針
・高齢者が気軽に参加できる通いの場を創出する。　・介護予防を推進する。
・一人暮らし高齢者などへの見守り体制を整備する。

高齢者がいきいきと元気に暮らす地域づくり

目指す姿　高齢者が生きがいをもって積極的に社会参加し、快適に自立した生活を送っている。

主な取組方針
・居宅サービス等の充実を図る。　・高齢者の交流と学習の場の活性化を支援する。
・高齢者の就業機会を創出する。　・介護者の負担軽減を図る。
・高齢者の移動時の交通手段の確保を図る。　・介護保険制度の適正な運用を図る。

障がい者が暮らしやすい環境づくり

目指す姿　地域全体で障がい者を理解し、支えている。

主な取組方針
・障がい者への理解を深めるための啓発を行う。
・関係機関の連携により、障がい者の切れ目ない支援体制を構築する。
・療育の充実を図る。

- 地域包括ケア：高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援を一体的に提供する仕組み
- 療育：発達に特性のある子どもの成長や生活を支えるための専門的な支援のこと

03　健康・福祉

施策の方向性

健康づくりの推進

目指す姿　市民自ら健康づくりに取り組み、いきいきと暮らしている。

主な取組方針
・健診受診率向上のための効果的な啓発を行う。　・健康意識の醸成を図る。
・各種保健事業の推進を図る。

医療環境の充実

目指す姿　市民が必要な時に必要な医療を受けることができている。

主な取組方針
・初期救急医療を含む救急医療体制の充実を図る。
・保険制度の適正な運用を図る。
・医療従事者の確保・育成の支援を図る。

関連する個別計画

- 伊万里市地域福祉計画・地域福祉活動計画
- 伊万里市介護保険事業計画
- 伊万里市保健事業実施計画(データヘルス計画)
- 伊万里市食のまちづくり・食育推進基本計画
- 伊万里市高齢者福祉計画
- 伊万里市障がい者・障がい福祉・障がい児福祉計画
- 伊万里市いきいき健康づくりプラン21計画
- 伊万里市新型インフルエンザ等対策行動計画

・食育：さまざまな経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

04　人権・共生・協働

市民とともに目指す姿

人権への正しい理解と認識、男女協働参画を通じて、すべての人が性別や国籍などにとらわれず互いを尊重し、地域課題の解決に向けて支え合い、特性をいかして自分らしく活躍できる共生のまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 市民の半数近くが、人権が十分に尊重されていないと感じている。	● 多様化・複雑化している人権問題に応じた取組と、正しい知識の普及が必要である。
● 男女の固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣行が依然として残っている。	● 地域や職場における男女間格差の是正、ワーク・ライフ・バランスの促進が必要である。
● 日本人の中には、外国人との共生に不安を感じる人がいる。また、外国人の中には、日本の生活習慣や地域社会のルールについて十分に理解していない人がいる。	● 交流事業の開催など、日本人・外国人双方への取組を推進し、相互理解につなげていく必要がある。また、外国人住民への日常生活におけるルール・習慣等に関する情報提供が必要である。
● 若年層の転出により高齢者世帯が中心となり、地域活動の担い手が固定化している。	● 若者の地域活動参加促進や、市民・団体・企業の連携強化が必要である。

施策の方向性

人権教育と啓発の推進

目指す姿　市民一人ひとりの人権が尊重されている。

主な取組方針
・人権に関する効果的な啓発を行う。
・人権侵害に関する相談体制の充実を図る。　・人権に関する教育の推進を図る。
・同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の早期解決を図るための効果的な取組を推進する。

男女協働参画の推進

目指す姿　すべての人が性別にとらわれずいきいきと活躍している。

主な取組方針
・男女協働参画に関する情報提供と意識啓発を進める。　・相談支援の充実を図る。
・審議会等の政策・方針決定過程への女性の参画を推進する。
・仕事と生活の調和を保つワーク・ライフ・バランスの定着を図る。

多文化共生の推進

目指す姿　外国人も日本人も共に安心して暮らしている。

主な取組方針
・日本人と外国人の相互理解を深めるための交流の機会を創出する。
・行政情報の多言語化、外国人住民への生活ルールの周知・学習機会の提供を進める。

市民協働の推進

目指す姿　市民・団体・行政が協働し、地域課題を解決している。

主な取組方針
・市民・団体・企業の情報交換・連携の場づくりを推進する。
・地域づくりサポーターの活用により地域課題を把握し解消を図る。
・コミュニティセンターを中心にまちづくり活動の活性化を図る。

関連する個別計画

- 伊万里市人権教育・啓発に関する基本方針
- 伊万里市男女協働参画基本計画

- ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和のこと。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方を選択・実現できること
- 多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと

05 農林水産

市民とともに目指す姿

高齢化や担い手不足が深刻化する中、スマート化・省力化などによる持続可能な農林水産業を確立するとともに、「稼げる農業」の実現、森林資源の有効活用、水産業の振興、伊万里産品のブランド力強化を進め、地域の農林水産業が次世代へつながるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 農業者減少で耕作放棄地が増えているほか、生産資材の高騰やスマート農業など新たな取組への不安を抱えている。	● 農地集約の担い手確保が課題であり、スマート農業導入や新規就農者の支援が必要である。
● 伊万里ブランドは高評価だが従事者・生産量が減少し、施設老朽化や生産費高騰で経営が圧迫されている。	● 従事者が生産を継続することができる環境整備と、安定した品質、生産量を確保するための施設等の整備や更新が必要である。
● 市民の森林への関心が薄れ、担い手不足が深刻となっている。	● 森林経営管理制度に則り、私有林の間伐を実施し、担い手確保支援や普及啓発が必要である。
● 波多津漁港の老朽化が進み、漁業者による水産業・漁村の多面的機能を発揮する地域活動の維持が困難になっている。	● 漁港施設の改修工事のための財源確保と長期を見据えた計画策定が必要である。
● 農業施設の老朽化で故障リスクが高まり、区画の小規模性や高齢化により作業効率化や多面的機能の維持が困難になっている。	● 施設更新の遅れにより競争力が低下し、災害リスクが高まっていることから、地域インフラを維持するための組織強化が必要である。

施策の方向性

担い手の育成と農業経営の効率化

目指す姿：地域全体で農地を維持し、担い手が活躍している。

主な取組方針：
・新規就農者が参入しやすい環境を整備する。
・農地集約に向けた地域協議を促進する。　・農業の自動化や省力化を推進する。

伊万里ブランドの維持向上

目指す姿：産地の信頼を強固にしたブランド化により、力強い農業が確立されている。

主な取組方針：
・伊万里牛や伊万里梨などの産地維持と振興を図る。
・安定した品質・生産量を確保するための機器・設備の整備と販売促進を図る。

森林の適切な経営管理

目指す姿：多様な機能を発揮する森林が適切に管理されている。

主な取組方針：
・森林の機能や森林経営管理制度について周知・啓発を実施する。
・林道の維持管理や整備を行う。　・林業経営体と連携し各種事業に取り組む。

漁業経営の安定

目指す姿：漁業者が安心して活動できている。

主な取組方針：
・計画的に波多津漁港施設の改修工事を実施する。
・佐賀玄海漁業協同組合と連携し各種事業に取り組む。

農業施設・基盤の整備

目指す姿：次世代へつなげる、強靭で生産性の高い農業基盤が整っている。

主な取組方針：
・中山間地域をはじめとした基盤整備を産業効率化と地域防災の両面から推進する。
・有害鳥獣による被害防止のため猟友会と連携する。

関連する個別計画

- 地域計画
- 伊万里市肉用牛近代化計画
- 伊万里市森林整備計画
- 伊万里市特定間伐等促進計画
- 水産物供給基盤機能保全事業基本計画
- 伊万里農業振興地域整備計画
- 伊万里市国土強靭化地域計画

- スマート農業：ロボット、AI、IoT、ドローン、センサーなどの先端技術を活用して、省力化や生産性向上を図る農業
- 森林経営管理制度：手入れができていない森林について、市町村が所有者から森林を預かり、林業経営に適した森林は地域の林業経営体に経営を委託し、それ以外は市町村が公的に管理する制度
- 中山間地域：山間地及びその周辺の地域のこと

06 商工

市民とともに目指す姿

本市の特色である港など地域の強みをいかしながら、働きたいと思える仕事づくりと歩いて楽しめるまちなかの再生を進め、市民が市内で「働く・稼ぐ・消費する」の好循環を生み出し、にぎわいと働きがいのあるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 大手企業は堅調だが、地場企業はコスト高で苦戦し、若者の地元就職希望も低迷している。	● 積極的なDX投資による生産性向上と人手不足の解消が必要である。
● 若者や消費の市外流出、空き店舗の増加などにより、商業機能やにぎわいが低下している。	● 空き店舗や交流拠点の活用を通じて来街機能を創出し、中心市街地の商業活性化とにぎわいの創出を図る必要がある。
● 基盤となる製造業をはじめ、大企業やIT企業など多様な産業の立地が進んでいる。	● 若者の進学・就職が市外へ流出しており、若者にとって魅力的な企業の誘致・情報発信が必要である。
● 市内の有効求人倍率は県・全国より高く、人手不足の傾向が強い。	● 高校生向け説明会は参加者が増加傾向にある一方、大学新卒者・UIJターン向け相談会は伸び悩んでおり、参加者増加のための取組が必要である。
● 伊万里港は取扱量が順調な一方、輸入超過となっている。施設整備により利便性は向上している。	● 臨海部の産業用地が不足しており、港の利活用に向けた官民連携での整備が必要である。

施策の方向性

中小企業の振興

目指す姿：地場の中小企業が独自の強みを発揮し、高い付加価値と賃金を実現している。

主な取組方針：
- DXやGXなどによる生産性向上と経営基盤強化を支援する。
- 地元企業の「働きがい」の発信と若者とのマッチングを支援する。
- 商工会議所等と連携し異分野連携を進め、各種事業に取り組む。

中心市街地の活性化

目指す姿：歩いて楽しめる「遊び」と「仕事」が共存し、多様な世代が集っている。

主な取組方針：
- 伊万里駅周辺を核とした歩行空間の整備や回遊性の向上を進める。
- 空き店舗のリノベーションを進め、挑戦の場や地域課題解決の拠点を創出する。

企業誘致の推進

目指す姿：多様な企業で市民が伊万里で働くことができている。

主な取組方針：
- 誘致業種の幅を広げ、質の高い雇用の場と多様な働き方の選択肢を創出する。
- 市民が働きたいと思える魅力ある企業やIT関連企業の誘致・情報発信に取り組む。

就労支援の充実

目指す姿：年齢や特性に関わらず、誰もが当たり前に働く喜びを分かち合うことができている。

主な取組方針：
- 新規学卒者等の市内での就労を促進する。
- 働きやすい労働環境づくりを進める。
- 各種相談体制を充実させる。

港湾の利活用

目指す姿：貿易が栄え、多様なニーズに対応できる高機能な港湾が整備されている。

主な取組方針：
- 国内外での積極的なポートセールスの展開や新規航路開拓を進める。
- 湾岸施設や産業用地・交通網を整備する。
- 海に親しむ公園や海洋レクリエーション施設など、憩いの場としての活用を進める。

関連する個別計画

- 伊万里市都市計画マスタープラン

- リノベーション：既存建物に修繕・改造などを施すことにより、その機能を向上し価値を高めること
- UIJターン：都市部の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に、Iターンは出身地以外の地方に、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態のこと
- ポートセールス：船舶や貨物の誘致のために、港湾管理者、港運事業者、商工会議所などの港湾振興関係者が一団となって行う営業活動のこと

07 観光

市民とともに目指す姿

市民や地域事業者と連携し、伊万里産の食材をいかした取組や体験型観光の充実を図り、国内外から選ばれるまちづくりを進めるとともに、市民が伊万里の魅力を発信し、多くの伊万里ファンが訪れるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 大川内山をはじめとした観光資源は豊富だが、観光コンテンツ化が十分ではなく、多様な観光資源を周遊促進につなげられていない。また、滞在時間の延長がのぞめる観光コンテンツが不足していることで、日帰り・通過型が多く滞在・消費が伸びない状況にある。	● 滞在型観光へ向け、地域資源をいかした企画充実と担い手確保、広域周遊強化が必要である。
● 道の駅「伊万里ふるさと村」などで誘導案内が不十分なほか、主要拠点への立ち寄りが進んでいない状況である。	● 観光客が安心して市内を周遊し滞在できるよう、主要観光拠点への案内機能を強化し、観光関連団体の体制強化をする必要がある。
● 国内外からの観光客は増加している一方、事業者のインバウンドへの理解が十分ではないため多言語化や情報発信が進まず、需要への対応が不十分となっている。	● 拡大するインバウンド需要を確実に取り込むため、需要に応じた多言語化による効果的な情報発信を強化する必要がある。

施策の方向性

観光資源の開発・活用

目指す姿：滞在型観光の増加により、観光消費額が増大し、地域経済が潤っている。

主な取組方針：
・体験型コンテンツと、農家民宿等を組み合わせた滞在型観光につながる旅行商品を開発する。 ・福岡都市圏を中心とした誘客を継続する。
・異業種連携による周遊促進に取り組む。
・近隣都市と連携した観光ルートの開発や誘客宣伝活動に取り組む。

観光客受入体制の整備

目指す姿：常に満足度の高い観光を提供できている。

主な取組方針：
・観光案内看板を充実し、観光拠点への誘導を図る。
・観光協会等の体制強化に取り組む。

観光情報発信の強化

目指す姿：旅行者に伊万里の魅力が伝わることで、多くの伊万里ファンが訪れている。

主な取組方針：
・さまざまな機会や媒体を活用した、観光客増加に向けた情報発信を行う。
・市内事業者と連携し、インバウンド需要に応じた情報発信を図る。
・事業者による多言語化の取組を支援する。

- 滞在型観光：観光地を短時間で巡るだけでなく、一定期間滞在しながら地域の自然、文化、食、体験、交流を楽しむ観光形態
- インバウンド：外国人観光客による訪日観光のこと

08　スポーツ・文化

市民とともに目指す姿

施設整備や情報発信を進め、市民がスポーツや文化芸術に親しみ、地域の歴史・文化を資源として活用し、交流が活力を生むまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 市内各所に体育施設があり、スポーツ活動が盛んで市内外から多くの参加者が集っている。	● 競技人口の減少により大会継続が困難となっているほか、施設の老朽化対策が必要である。
● 伊万里湾を介した歴史や黒曜石・伊万里焼の文化がある一方、収蔵施設の老朽化や展示手法の硬直化がみられる。	● 文化財への理解促進のため、若年層への周知や学びの充実、市内の文化財に対する保存と活用計画の策定が必要である。
● 国見台公園は運動公園として活用されている一方、市街地に隣接した立地でありながら公園としての魅力が不足しているという指摘もある。	● 運動公園の良い部分を継承しながら、時代のニーズに即した、誰もが利用しやすい国見台公園の整備が求められている。
● 市民センターは文化活動拠点として利用される一方、施設や空調設備などの老朽化が進んでいる。	● 市民センターを利用する市民等の利便性向上に向け、計画的な施設の改修や空調設備などの更新が必要である。

施策の方向性

スポーツ活動の促進

目指す姿　市民が日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健やかになっている。

主な取組方針　・市民が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、伊万里ハーフマラソンなどの大会・イベントの開催を促進する。　・体育施設の計画的な改修・更新を進める。

文化財の保存・活用推進

目指す姿　貴重な文化財の価値や魅力が伝わり、後世に継承されている。

主な取組方針　・講座や説明会、出土遺物の展示などを通じて、その価値や魅力の発信を進める。
・腰岳の黒曜石や伊万里焼・カブトガニなどの文化財の講演会やシンポジウムを開催する。

交流拠点の整備

目指す姿　交流を通じた憩いとにぎわいが生まれ、地域の活性化につながっている。

主な取組方針　・新体育館の整備を核として、国見台公園全体の魅力向上を図る。

文化活動拠点の整備

目指す姿　市民が快適に文化活動施設を利用できている。

主な取組方針　・市民センター等の文化活動施設の計画的な改修・更新を進め利便性向上を図る。　・市民の主体的な文化芸術活動や発表の場としての活用を促進する。

関連する個別計画

- 伊万里市の教育
- 伊万里市教育大綱
- 伊万里市公共施設等総合管理計画
- 伊万里市公共建築物個別施設計画
- 伊万里市立地適正化計画

09 シティセールス

市民とともに目指す姿

伊万里の魅力を高めて認知度と郷土愛を高め、結婚・移住・就労の希望を叶える体制を整え、交流人口や関係人口の拡大を図りながら、移住・定住先として選ばれるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 移住に係る支援金の活用者は減少する一方、新築取得・空き家購入等の奨励金の活用者や移住相談は増加している。	● 移住に係る支援金等の受給者が要件未達のまま転出し、返還となる事例が増加しており、定住化に向けた対策が必要である。
● 現在の合計特殊出生率は、全国的に見ても高いが未婚率も高く、今後出生率の低下が懸念される。	● 若い世代の進学・就職による市外転出が進み、結婚を希望する人同士が出会う機会が減少している。
● SNS活用と外部人材連携により情報発信を強化し、市公式Instagramの運用を進めている。また、郷土愛の醸成は小学生で高い一方、中学生では大きく低下する傾向がある。	● 市内外の人々を巻き込んだプロモーションを展開し、さらなる認知度向上を図ることが必要である。また、郷土愛を高めるため、市民が伊万里の魅力を理解し、積極的に市外へ発信できるよう促す必要がある。
● 広聴活動は多様化を進めている一方、市からの情報発信への満足度は依然として低い状況にある。	● 早く正確な発信に加え、市民の声を広く把握し、若者向けの発信・参加機会を強化する必要がある。

施策の方向性

移住・定住の促進

目指す姿：若者や子育て世帯に移住・定住先として選ばれている。

主な取組方針：
・各種相談体制を充実させ、UIJターンなどの移住者の定住を促進する。
・就労先・住宅確保の支援の充実を図る。

婚活支援の推進

目指す姿：結婚を望む人を地域全体で応援し、若い世代が将来に希望を持って暮らし続けている。

主な取組方針：
・婚活・恋活イベントの充実を図る。
・婚活登録をオンライン化するなど、気軽に婚活をスタートできる仕組みを充実させる。

認知度拡大と郷土愛の醸成

目指す姿：観光、就職、移住・定住などあらゆる場面で選ばれ、市民一人ひとりが伊万里の良さを実感し、その良さを市外へ発信できている。

主な取組方針：
・SNS・プレスリリース等の活用や外部人材との連携を進める。
・ふるさと納税を通して伊万里の認知度拡大を図る。
・市外向けのみならず市内向けの告知等を強化し、郷土愛の醸成を図る。

市政に関する情報発信の強化

目指す姿：市の情報を市民と幅広く共有し、市民が主体的にまちづくりに参加できている。

主な取組方針：
・広報紙の掲載内容や手法を見直し、デジタル発信の充実を図る。
・市民との意見交換や広聴機会を拡大し、市民の声を反映したまちづくりを進める。

関連する個別計画

- 伊万里市シティプロモーション推進ビジョン

- 交流人口：地域外からの旅行者や短期滞在者など地域を訪れる(交流する)人々のこと
- シティプロモーション：地域資源を発掘・創出して、地域の内外へ発信することで、都市のブランド力を高め、まちづくりにさまざまな効果を波及させること

10　都市・住宅

市民とともに目指す姿

道路交通網の整備、持続可能な公共交通の確保、都市機能と居住地の集約、住宅施策を進め、コンパクト・プラス・ネットワークを実現することで、市民が必要な都市機能やサービスを身近に利用でき、快適に暮らせるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 西九州自動車道や国道204号バイパスなどの幹線道路の整備が進む一方、一般道路や橋りょう等の老朽化が進み、損傷などが増加している。	● 要望活動等を通じた幹線道路の整備促進を図るとともに、一般道路や橋りょう等の老朽化に対応した計画的な維持管理が必要である。
● 移動需要の変化により公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。	● 移動ニーズへの対応と人材確保を図り、持続可能な交通体系にする必要がある。
● 上下水道、工業用水道設備の老朽化が進行しているほか、基幹管路の耐震化も十分ではない。	● 上下水道、工業用水道の持続性確保のため、長期的な老朽化、耐震化の対策が必要である。
● 用途地域外の開発・新築・建替えの届出件数が、用途地域内を上回っている。	● 中心部の用途地域周辺への無秩序な市街地の拡大を抑制し、適正な土地利用を誘導する必要がある。

現状	課題
● 公園遊具等の老朽化が進行している。	● 公園施設の適切な維持管理を進めると同時に利用しやすい公園整備が必要である。
● 所有者の高齢化や市外在住により空き家問題が複雑化しているほか、市営住宅においても老朽化が進み、耐用年数を超えた住戸が全体の4割を占めている。	● 空き家の適正管理と利活用を促進するとともに、市営住宅の供給・管理について効率的な更新計画を進める必要がある。

• コンパクト・プラス・ネットワーク：生活サービス機能を一定の拠点に集約する「コンパクト」と、それらを公共交通などで結ぶ「ネットワーク」を組み合わせたまちづくりの考え方

10　都市・住宅

施策の方向性

道路の維持・整備

目指す姿　幹線道路等の整備が進み、安全で利便性の高い道路・交通体系が整っている。

主な取組方針
- 西九州自動車道などの幹線道路等の整備を促進する。
- 道路や橋りょうなどの危険箇所の早期発見と適切な維持管理を図る。
- 生活道路のユニバーサルデザイン化と交通安全施設の整備を推進する。

公共交通機関の維持向上

目指す姿　日常生活に必要な移動手段が確保され、持続可能な公共交通体系が維持されている。

主な取組方針
- 公共交通の利用促進や維持・最適化を進める。
- 交通空白地域への新たな移動手段の導入や人材確保を図る。

上下水道・工業用水道の維持・整備

目指す姿　安全な水が安定して利用できる環境が確保されている。

主な取組方針
- 上下水道および工業用水道施設の計画的な更新を進める。
- 安定的な運営を図るための業務効率化と財源の確保を図る。

都市空間の再整備

目指す姿　都市機能が中心部に集約され、郊外の生活拠点と公共交通で結ばれたコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが進んでいる。

主な取組方針
- 居住や都市機能の適正な立地を促進する。
- 風土に根ざした景観や建物の保全を図る。

公園の適正管理

目指す姿　誰もが安心して過ごせる公園が整っている。

主な取組方針
- 公園施設の計画的な改修・更新を進める。
- インクルーシブ公園の整備を推進する。
- 公園環境の保全を図る。

住宅施策の推進

目指す姿　安全で安心な住宅と住環境が整っている。

主な取組方針
- 市営住宅を適切に維持管理する。
- 段階に応じた空き家の適正管理と利活用を促進する。
- 住宅の耐震化を促進する。

関連する個別計画

- 伊万里市地域公共交通計画
- 伊万里市水道ビジョン
- 伊万里市公園施設長寿命化計画
- 伊万里市公営住宅長寿命化計画
- 伊万里市住生活基本計画
- 伊万里市橋りょう長寿命化修繕計画
- 伊万里市耐震改修促進計画
- 伊万里市都市計画マスタープラン
- 伊万里市国土強靭化地域計画
- 伊万里市立地適正化計画
- 伊万里市道路施設個別施設計画

- ユニバーサルデザイン：すべての人にとって、使いやすい製品や環境のデザインのこと
- インクルーシブ公園：障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰もが利用しやすいよう配慮された公園
- 交通空白地域：誰もがアクセスできる移動の手段がない又は利用しづらいなど地域交通に係る困りごとを抱える地域

11　防災・安心

市民とともに目指す姿

平時からの備えと危機管理体制を充実させるほか、防災・防犯意識の向上を図り、「自助・共助・公助」が有機的に機能することで、災害や多様化する犯罪に対応できる、安全・安心なまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 線状降水帯の発生などにより、水害・土砂災害のリスクがある。また、市内全域が玄海原子力発電所のUPZ圏内にある。	● 災害に強いまちづくり、市民の防災意識の向上など、地域における防災体制の強化を図る必要がある。
● 若年層や壮年層の減少や、就業形態の変化により消防団員数の減少が進んでいる。	● 消防団活動について、事業所や家庭内において理解と協力を得る必要がある。
● 飲酒運転の増加や、高齢者が交通事故の被害者や加害者となる割合が高く、また、高齢者や若者を巻き込む詐欺事件などが発生している。	● さらなる交通安全や防犯対策への啓発を強化する必要がある。
● フリマアプリやサブスクリプション、キャッシュレス決済、SNSを介した取引の拡大などにより、消費生活は便利になる一方、消費に関するトラブルは多様化・複雑化している。	● デジタル取引や契約に関する被害を防ぐため、若年層や高齢者などを中心に、個々の状況に応じた相談対応の充実とトラブルを未然に防ぐ効果的な対策が必要である。

施策の方向性

防災体制の充実

目指す姿　行政や民間、住民や地域がそれぞれの役割を果たし、自然災害や原子力災害に備えた地域防災力が向上している。

主な取組方針
・都市の防災機能確保のため防災指針を定め、災害リスクの回避、低減を図る。
・災害時の情報伝達手段の多重化を図る。　・市民の防災意識の向上を図る。
・ハザードマップの更新などの治山治水事業を推進する。

消防体制の充実

目指す姿　地域で支え合い、災害に備えることができている。

主な取組方針　・地域防災活動に参加しやすい環境を整え、担い手の確保を図る。

交通安全・防犯対策の推進

目指す姿　市民が交通ルールを順守しているほか、犯罪から身を守ることができている。

主な取組方針　・関係団体と連携した交通安全啓発活動や防犯活動を実施する。

消費生活相談の充実

目指す姿　市民がトラブルに巻き込まれることなく、安心して消費活動をしている。

主な取組方針　・消費生活相談体制の充実を図る。　・年齢層に応じた啓発と未然防止に取り組む。

関連する個別計画

・ 伊万里市地域防災計画　・ 伊万里市交通安全計画　・ 伊万里市立地適正化計画

- 線状降水帯：次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる強い降水域。大雨災害の危険性が高い
- フリマアプリ：個人同士がスマートフォンのアプリ等を通じて物品を取引できるサービス。手軽だが取引トラブルへの注意が必要
- サブスクリプション：月額料金等の定額を支払うことにより、契約期間中、商品やサービスの利用が可能になる仕組み
- キャッシュレス決済：現金を使わず、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済などで支払う方法
- ハザードマップ：地震や洪水などの自然災害による被害を予測し地図化したもので、被害の拡大範囲や避難場所などの情報が図示されている

12　環境

市民とともに目指す姿

ゼロカーボンシティの実現に向け、省エネや再エネの普及を推進するほか、適正な廃棄物処理の強化などを通して、環境が保全され、市民が豊かな自然と共生している持続可能なまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● ごみ排出量の増加は抑制されている一方、リサイクル率は減少傾向にある。	● リサイクルへのさらなる意識醸成と、市全体での取組が必要である。
● 河川や海域の水質、騒音の環境基準はおおむね達成している。	● 環境基準の達成継続と環境保全意識の一層の向上が必要である。
● 温室効果ガス排出量は減少している一方、産業部門の排出割合が高い。	● 温室効果ガス排出量のさらなる削減のためには、市、市民、事業者等が一体となって取組を進めていく必要がある。

施策の方向性

ごみの減量化と適正な処理

目指す姿　環境負荷の少ない循環型社会が形成されている。

主な取組方針　・ごみの減量化とともに3R運動を推進する。　・資源循環の意識醸成を図る。
・さが西部クリーンセンター等において、ごみを適正に処理する。

生活環境の保全

目指す姿　豊かな自然との共生社会が形成されている。

主な取組方針　・環境保全活動を推進する。　・自然保護活動やペットの適正飼育を推進する。
・公衆衛生の向上を図る。　・廃棄物最終処分場への市民の不安解消を図る。

ゼロカーボンシティの実現

目指す姿　省エネへの取組や再エネ設備等の導入が広がり、エネルギーを有効利用している。

主な取組方針　・省エネ活動や再エネ設備等導入の普及啓発や支援により、脱炭素社会の推進を図る。

関連する個別計画

- 伊万里市環境基本計画
- 伊万里市一般廃棄物処理基本計画
- 伊万里市地球温暖化対策実行計画

- ゼロカーボンシティ：2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを表明した自治体
- 再エネ：再生可能エネルギーの略。太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、永続的に利用することができるエネルギー源
- 循環型社会：再利用やリサイクルを行うことで、廃棄物の量を少なくし、資源として循環利用する社会のこと
- 3R運動：ごみの減量化「Reduce」、資源の再使用「Reuse」、資源の再生利用「Recycle」の頭文字をとったもので、限りある資源を有効に利用するための取組のこと
- 脱炭素社会：温室効果ガス排出を大幅に削減し、持続可能な社会を実現する社会像。再エネ導入、省エネ、電化などが重要

13　行政経営

市民とともに目指す姿

行政のデジタル化をはじめとする行政DXに加え、客観的な根拠に基づく人材や財源の戦略的活用により、価値創造型の行政経営を推進し、市民が安心して行政サービスを利用できるまちを目指します

政策分野の現状と課題

現状	課題
● 求められる行政サービスが肥大化し人員や財源が限られる中、オンライン化された行政手続は限定的で利用者も少ない。	● デジタル機器に不慣れな人への支援を行いつつ行政手続のオンライン化を拡充し、データ等の根拠に基づいた業務効率化や企画立案を進める必要がある。
● 経常的な財政負担が高い水準で推移し、財政の硬直化が懸念されている。	● 歳入増が見込めない中、必要となる財源確保に向けた歳出の精査が必要である。
● 行政サービスの提供に大きな支障が出てはいないが、必要な職員数を確保できていない。	● 職員の人材確保に向けた採用強化が必要である。

施策の方向性

デジタル技術とデータ活用による行政経営の推進

目指す姿　デジタル技術の活用と客観的な根拠に基づく意思決定により、スマートで利便性の高い行政サービスを実現している。

主な取組方針
- 誰もが簡単に利用できるオンライン行政サービスを構築する。
- データ等の根拠に基づく政策立案（EBPM）を推進する。
- 民間委託など多様な手法を検討し、経営資源の戦略的な活用を図る。

効果的な財政運営と資産のマネジメントの推進

目指す姿　健全な財政基盤を確立している。

主な取組方針
- SNSなどを活用した納税意識の啓発を図る。
- デジタル化の推進により、賦課・収納事務の効率化を図る。
- 国や県の事業を活用し計画的な財政運営を行う。
- 公共施設の複合化や長寿命化など、適正規模への見直しを進める。

組織力の強化と人材育成の充実

目指す姿　優秀な人材が確保・育成されている。

主な取組方針　・効果的な採用活動を展開する。　・職務に必要な研修プログラムの充実を図る。

関連する個別計画

- 伊万里市DXアクションプラン
- 伊万里市財政運営基本方針
- 伊万里市公共建築物個別施設計画
- 伊万里市公共施設等総合管理計画

- 行政DX：行政手続や内部事務、住民サービスをデジタル技術で変革し、利便性向上や業務効率化を図る取組
- EBPM：Evidence-Based Policy Making の略。統計や調査などの客観的根拠に基づいて政策を立案・改善する考え方